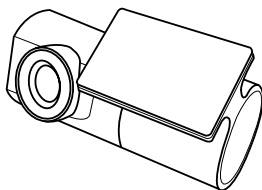
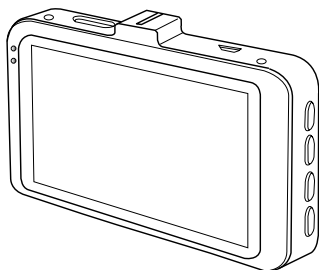
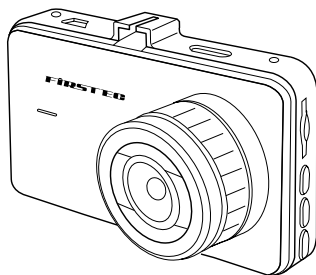


2カメラ・ドライブレコーダー

FT-DR130W

取扱説明書



このたびはFT-DR130Wをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本体の電源はDC5Vです。

必ず、付属のカー電源コードを使用してください。

目次

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意	3
免責について	4
個人情報の保護について	4
バックアップ電源について	5
microSD カードに関するご注意	5
LED 式信号機について	6
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	6
もしも事故が起きてしまったら	6

準備する

同梱品を確かめる	7
各部の名称	8
はじめにすること	10
1. SD カードを挿入する	10
2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する	11
3. SD カードをフォーマットする	12
4. 日時を合わせる	14
車へ取り付ける	16
1. フロントカメラ部の取り付け	17
2. リアカメラ部の取り付け	19
3. カー電源コードの接続	20
4. ボタン操作によるフロントカメラ/リアカメラ表示切り替え方法	21

撮る

録画を開始する	22
1. 常時録画	23
2. イベント録画	24
録画を停止する	25
初期化 (リセット)	25

見る

本体で見る	26
再生ファイルについて	27
再生の終了	27
録画の開始	27
ファイルの削除	28
パソコンで見る	29

各種設定

設定手順	31
設定項目	32

記録時間の目安

本体ソフトウェアのアップデート

故障かな?と思ったら

主な仕様

保証規定 / 保証書

裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告



■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



■ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



■内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



■異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

必ずお読みください

⚠ 注意



■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■使用温度範囲内で使用する

本機の温度保証範囲 (P.37) 以外で使用するすると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■お手入れの際、電源プラグを抜く

お手入れの際は必ず、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■取り付け場所を十分に考慮する

(P.16)

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

バックアップ電源について

●スーパーキャパシタ

衝撃によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録画中のファイルを正常に保存します。バックアップ電源は耐久性に優れたスーパーキャパシタを採用。

●時計用バックアップ充電電池

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されなかった場合、本体に内蔵の充電電池を充電してください。(20 分程度) 充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。

SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

※本機以外で使用した SD カードを使用する場合は、必ず SD アソシエーションの SD フォーマッターでフォーマットを行ってください。(P.6 参照)

但し、SD カードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。

※付属品以外の SD カードの動作保証は致しかねます。

重要！

SD カードは 1 ～ 2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例

・記録が開始されない

・SD カードが挿入されていても“カードなし”と表示される

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。

SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。(ドライブレコーダーのご使用状況(ご使用時間)により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません)

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

必ずお読みください

フォーマットの方法

●パソコンをお持ちの方

SD カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットは、SD アソシエーションのウェブサイトから SD フォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。

●パソコンをお持ちでない方

ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。(P.12 参照)

LED 式信号機について

LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、記録映像で信号機が点滅しているように見える場合があります。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- ・ Windows8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の AVI(MJPG) 動画再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

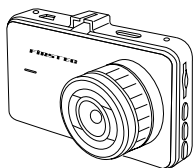
もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

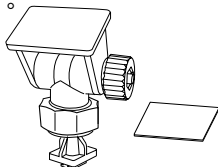
準備する

同梱品を確かめる

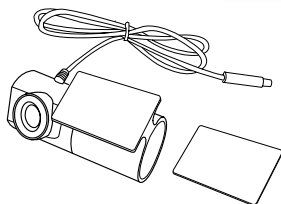
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



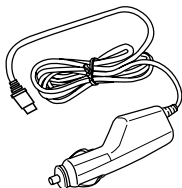
フロントカメラ (1 台)



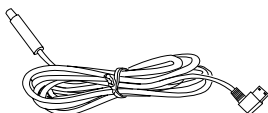
フロントカメラ用取付ステー (1 個)
ステー用両面テープ (1 枚)



リアカメラ (ケーブル長: 約 0.5 m) (1 台)
リアカメラ固定用両面テープ (1 枚)



カー電源コード (約 3.5 m) (1 本)



リアカメラ接続ケーブル (ケーブル長: 約 5.4 m)



取扱説明書 (本冊子)
保証書付 (1 冊)



8GB microSDHC
カード (1 枚)

別売品

直結配線ケーブル: DC-4B5VS (Ⅱ)

車両のシガーソケットから電源を供給できない場合に、直接車両の配線から電源を供給できます。

リアカメラ 8 m 交換ケーブル: FT-DRC08 Ⅱ

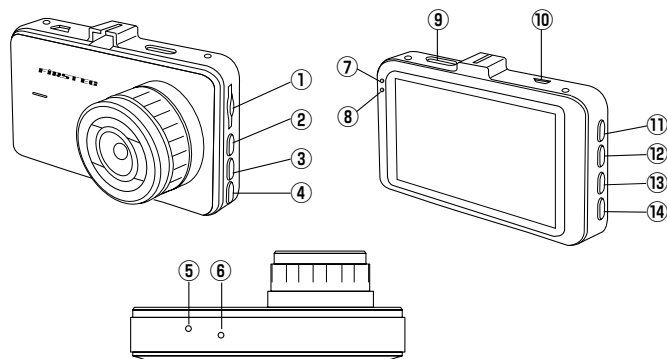
リアカメラ接続ケーブル長は約 5.4 m ですが、短い場合に本ケーブルと交換できます。

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

準備する

各部の名称

■フロントカメラ部



- ① microSD/SDHC カード挿入部
microSD/SDHC カードを挿入する。
(最大 32GB)

- ② ▲ アップボタン
設定項目 / 設定値の選択。
録画中 / 録画停止時: 短く押す度にフ
ロントカメラ、リアカメラの画面切替。

- ③ メニューボタン
設定画面の ON/OFF。

- ④ ▼ ダウンボタン
設定項目 / 設定値の選択。
録画中 / 録画停止時: 短く押す度に
音声録音の ON/OFF 切替。

- ⑤ リセットホール
本製品が正常に動作しない場合やフリ
ーズした場合に初期化を行います。
(P.25 参照)

- ⑥ マイク

- ⑦ 通電ランプ (青)
通電時点灯。

- ⑧ 録画ランプ (橙)

録画中: ゆっくり点滅。
録画停止中 / 再生中: 点灯。

- ⑨ リアカメラ接続端子
リアカメラを接続します。

- ⑩ 電源端子 (miniUSB) 端子
電源入力は DC5V です。
必ず付属のカー電源コードを接続して
ください。

- ⑪ OK ボタン
録画の停止 / 開始。再生の開始 / 停止。
設定時の確定。

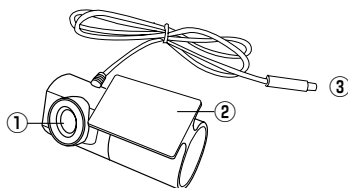
- ⑫ モードボタン
録画停止中: 動画 / 再生モードの切替。

- ⑬ ロックファイルボタン
録画中、短押しで手動ロックファイル
の生成。

⑭電源ボタン

2 秒以上の長押しで電源 OFF。
短押しで電源 ON。

■リアカメラ部



① カメラレンズ

② 取付ステー部

360 度回転可能

③ 接続プラグ

リアカメラ接続ケーブルのコネクター部と接続します。

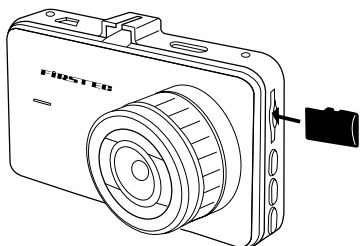
ご注意：本製品は防水仕様ではありません。車外への取り付けはしないでください。

準備する

はじめにすること

1. SD カードを挿入する

フロントカメラ部の SD カード挿入部に SD カードのラベル面をレンズ側にして“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押ししてから引き抜いてください。



重要！

⚠ 注意

- SD カードを抜く場合は本機の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SD カード破損の原因となることがあります。
- SD カードは消耗品です。ドライブレコーダでご使用の場合耐用年数は 3 ヶ月から 1 年です。3 ヶ月から 1 年毎に新しい microSDHC カードと交換することをお勧めします。
- SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。1 ～ 2 週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。
- 同梱以外の SD カードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SD カードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。（推奨 microSDHC カード：4GB ～ 32GB の Class10 以上）
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する

初めて使用する場合や 1 週間程度 使用されない場合、本体内蔵の充電電池を 30 分程度充電してください。充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

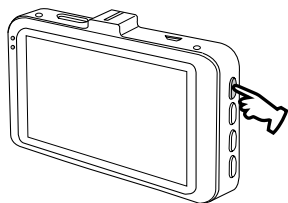
■車で充電する

1. SD カードを挿入する

2. 付属のカー電源コードで本体と車のシガーソケットを接続する (P.20 参照)

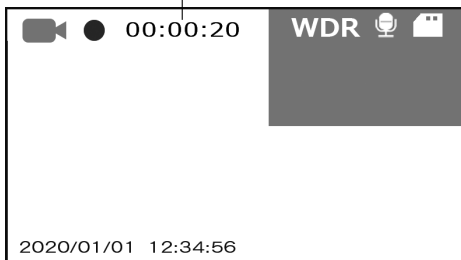
3. 車のエンジンをかける

自動的に電源が入り充電が行われます。録画が自動的に始まるので、録画の必要がない場合は、“OK” ボタンを押すと録画が停止します。再度、押すと録画を開始します。



※充電完了の表示等はありません。

※録画中は録画カウンターが赤でカウントを始めます。



準備する

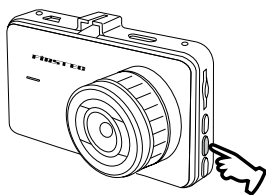
3.SD カードをフォーマットする

充電が完了したら、SD カードのフォーマットをします。

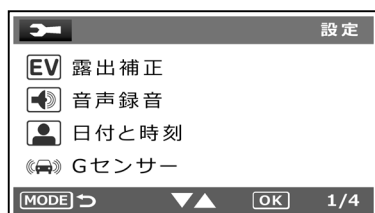
1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、“OK” ボタンを押して停止してください。

2. “メニュー” ボタンを押して設定メニューを表示させる

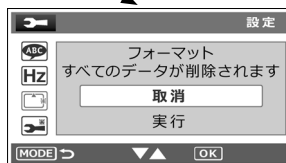
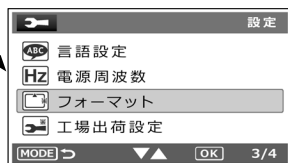
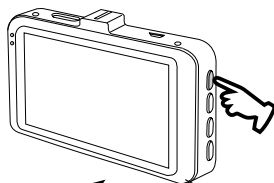
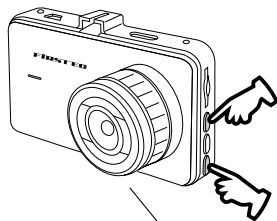


設定メニュー

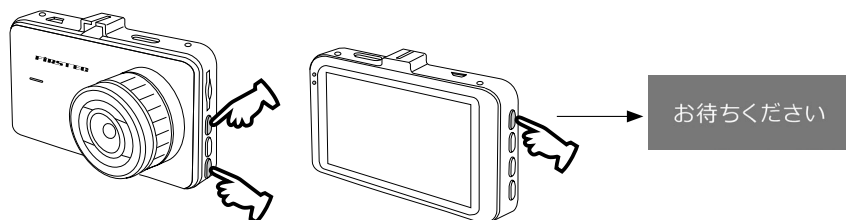


3. “▽” “△” ボタンで“フォーマット”を選択し、“OK” ボタンを押す

フォーマットの画面が表示されます。



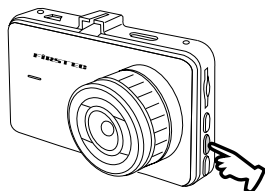
4. “▽” “△” ボタンで“実行”を選択し、“OK” ボタンを押す



上記画面が表示され、消えればフォーマット完了です。

- ・設定メニュー画面に戻ります。

5. “メニュー” ボタンを押して、終了する



6. 再度録画を開始する場合は、“OK” ボタンを押すか電源を入れ直してください

※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。
フォーマットをしないと、正常に記録ができなくなる場合があります。
(P.5 参照)

準備する

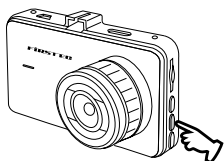
4. 日時を合わせる

フォーマットが完了したら、日時を合わせます。

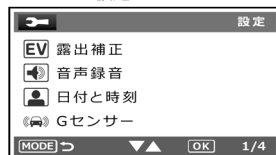
1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、“OK” ボタンを押して停止してください。

2. “メニュー” ボタンを押して設定メニューを表示させる

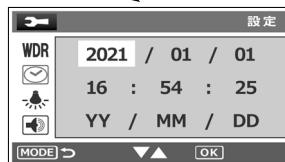
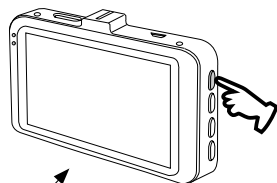
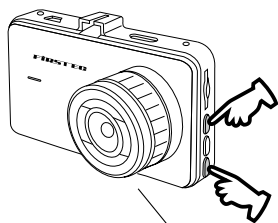


設定メニュー

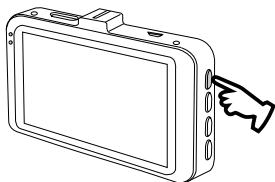
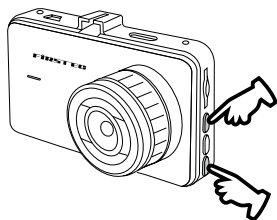


3. “▽” “△” ボタンで“日付設定”を選択し、“OK” ボタンを押す

日付設定設定画面になります。



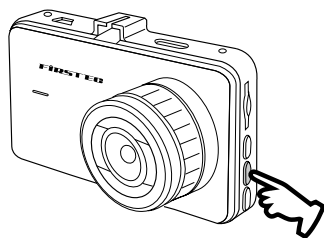
4. 年を“▽”“△”ボタンで合わせたら、“OK”ボタンで項目を移動させる



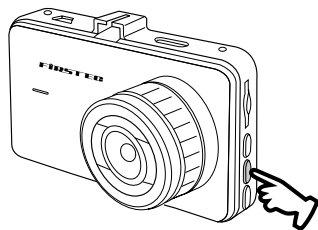
5. 同様に月、日、時刻、表示形式を設定し、“メニュー”ボタンを押して設定を確定します

※表示形式は

YY/MM/DD(年/月/日)、
MM/DD/YY(月/日/年)、
DD/MM/YY(日/月/年)を
選択できます。



6. “メニュー”ボタンを押して、終了する
※正しく設定されているか日時表示を確認してください。



7. 再度録画を開始する場合は、“OK”ボタンを押すか電源を入れ直してください

準備する

車へ取り付け

お願い

■正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。

取り付け上のご注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に 1/5 以内の場所に限りません。装着後運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等十分に確認してから使用してください。リアカメラ部は取り付け場所に制限はありませんが、必ず車内に取り付けしてください。

■車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に 1/5 以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。

■レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくよう取り付けください。

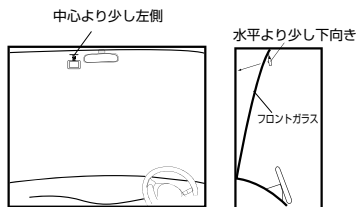
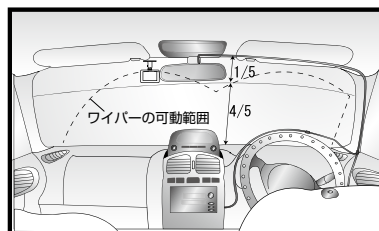
■点検シールや車検標章などと重ならないようにしてください。

■ステーを取り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。

■あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。

■前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。



<トラックの場合の取り付け参考例>

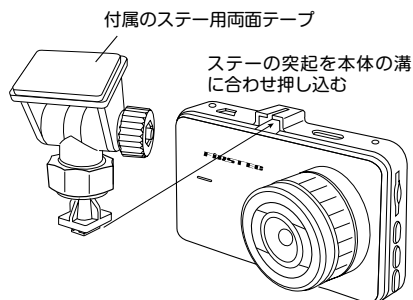
△注意

カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

1. フロントカメラ部の取り付け

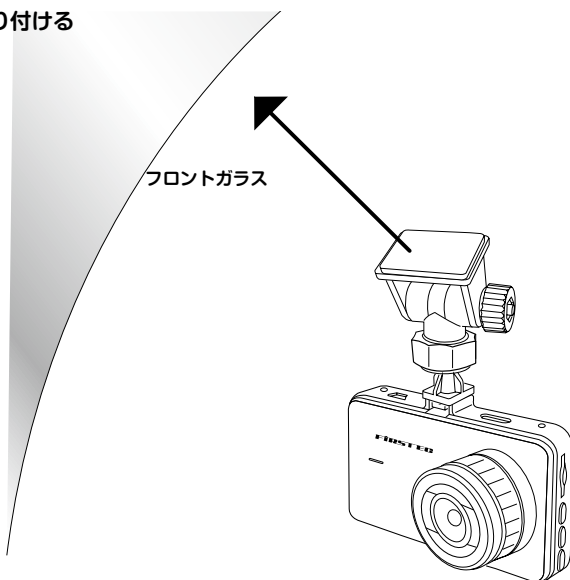
1. フロントカメラ部の取付けステー装着部の突起部にステーの溝を合わせ押し込む

※付属のステー用両面テープを貼ります。



2. 両面テープのはくり紙を剥がす

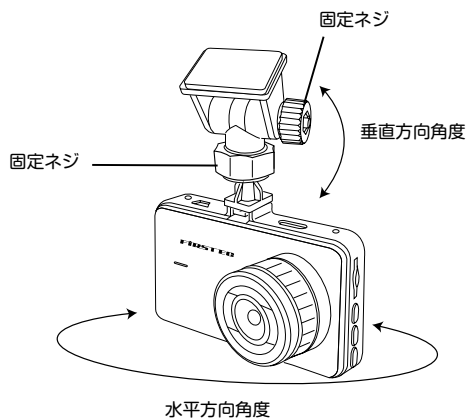
3. 車両の中央部から助手席側の運転に邪魔にならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けてフロントガラスに取り付ける



準備する

4. 水平方向、垂直方向の角度を合わせる

角度を合わせたら、2箇所の固定ネジでしっかりと固定します。

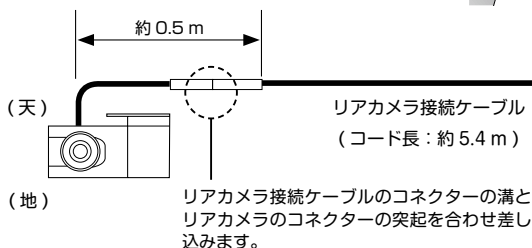


2. リアカメラ部の取り付け

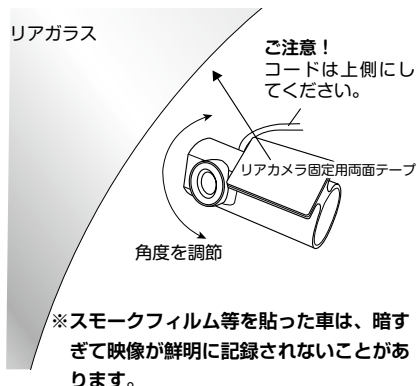
1. リアカメラの取付ステー部に付属のリアカメラ固定用両面テープを貼り、車内のリアガラスに貼ります

2. レンズ部を回して角度を調節します
360度回転できます。

3. リアカメラ接続ケーブルのプラグをフロントカメラに接続し、コネクタ部をリアカメラに接続します



取り付けイメージ



※接続ケーブルは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

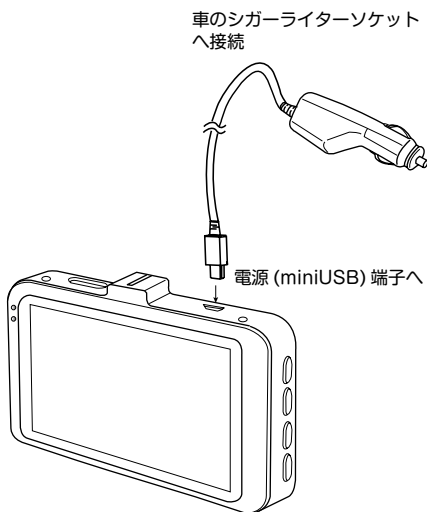
準備する

3. カー電源コードの接続

1. 付属のカー電源コードのプラグを本体の電源 (miniUSB) 端子に差し込みます。

2. カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。

※電源コードは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

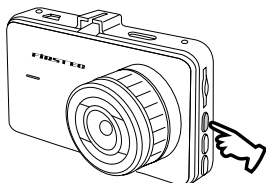


△注意

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また、付属のカー電源コードを切断して車両配線と直結しないでください。
車両配線と直結する場合は、別売の直結配線ケーブル DC-4B5VS(Ⅱ)をお買い求めください。

4. ボタン操作によるフロントカメラ / リアカメラの切り替え方法

ボタン操作でフロントカメラとリアカメラの表示を切り替えることができます。
録画中 / 録画停止時に“△”ボタンを押す度に切り替わります。



2画面 (サブ表示: リアカメラ)



1画面 (リアカメラ)



1画面 (フロントカメラ)



フロントカメラ



2画面 (サブ表示: フロントカメラ)



2分割画面

撮る

録画を開始する

1. SD カードを挿入し、車のエンジンをかける

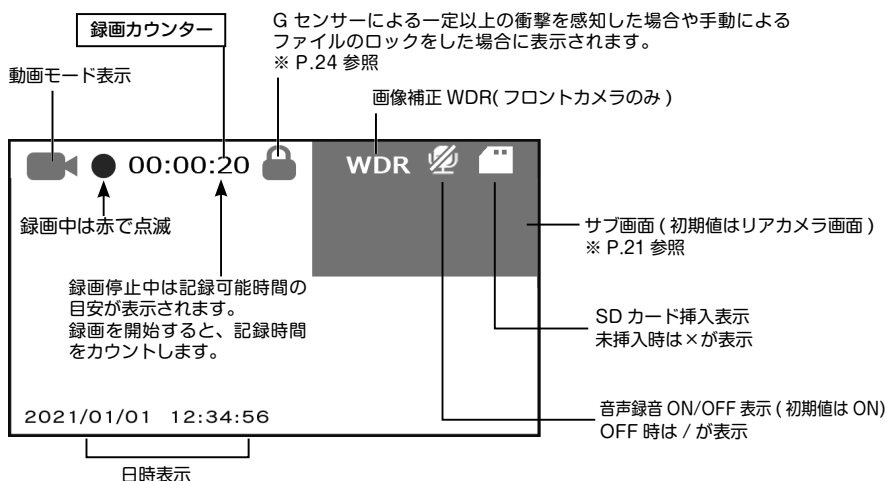
外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り録画が開始されます。

録画が開始されると、本体の録画ランプが橙で点滅し、画面左上の録画カウンターが赤でカウントを始めます。

3 分ごとに別のファイル名で保存されます。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。“SD カードを挿入してください” のメッセージが表示されます。SD カードを挿入し、“OK” ボタンを押すと録画を開始します。

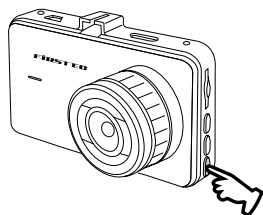
録画面面



●音声録音の ON/OFF

録画中 / 録画停止中に“▽” ボタンを押す度に音声録音の ON/OFF の設定ができます。

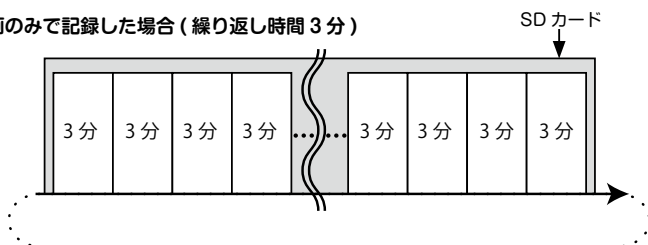
各種設定の「音声録音」でも設定できます。



1. 常時録画

常時録画は録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。
ファイルがいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

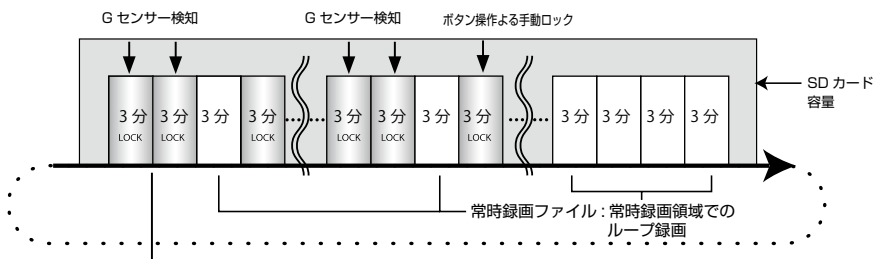
常時録画のみで記録した場合（繰り返し時間 3 分）



2. イベント録画 (G センサー / 手動)

G センサーの検知またはロックファイルボタン操作をすると、現在録画中のファイルをロックして、ロックファイルとして保護します。G センサーの感度設定は“各種設定”の G センサー (P.32) で設定できます。常時録画ファイルとロックファイルが混在して生成されると、最終的に SD カード容量の約 55%が上書きされないロックファイルとして保存されます。ロックファイル保存領域を超えるとロックファイル領域内で古いファイルを削除して、上書き保存されます。

常時録画ファイルとロックファイルの混在で録画した場合 (繰り返し時間 3 分)



※保護できるロックファイルの最大は SD カード容量の約 55%までです。(ロックファイル領域)

55%を超えた場合は領域の古いファイルから上書き保存されます。(ロックファイル領域でのループ録画)

重要!

ロックファイルの領域 (約 55%) を超えた場合は、古いロックファイルから上書き保存されます。
上書きされないようにするには、パソコン等に保存しておくことをおすすめします。

△注意

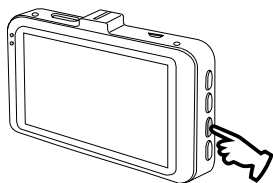
- 大切なデータがある場合はパソコンなどにあらかじめ保存してください。

■ G センサーによる衝撃を検知した場合

※衝撃を検知すると、画面上部に鍵マーク () が表示されます。

■ 手動によるファイルのロック

※常時録画中に“ロックファイルボタン”を押すと、画面上部に鍵マーク () が表示されます。

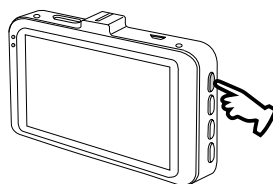


録画を停止する

1. “OK” ボタンを押す

エンジンを切るか、“OK” ボタンを押すと録画が停止します。

“OK” ボタンで録画を停止した場合は、再度、“OK” ボタンを押すと録画を開始します。

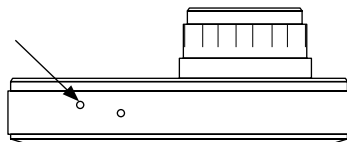


初期化 (リセット)

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体上面のリセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

リセットをすると、正しく電源が再起動されます。

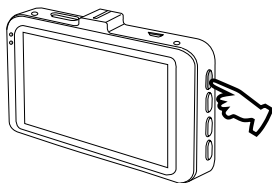
初期化を行っても問題が解決されない場合は、SD カードを抜いて再度リセットをして確認します。SD カードを抜いて正常に動作する場合はパソコンなどで SD カードをフォーマットしてください。



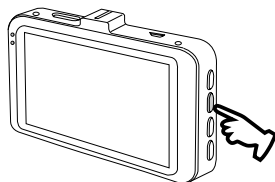
見る

本体で見る

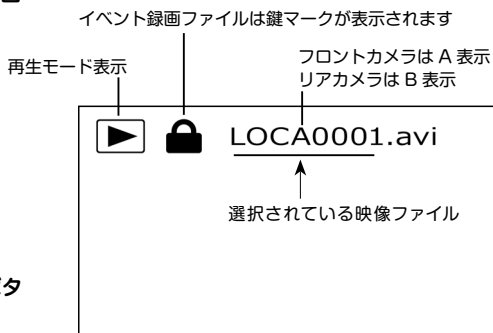
1. 録画中は、“OK” ボタンを押して録画を停止する



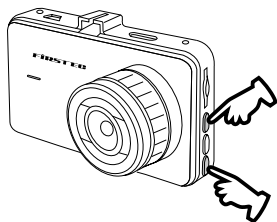
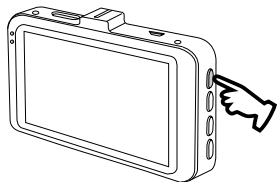
2. “モード” ボタンを押して再生モード画面にする



3. 再生したいファイルを“▽” “△” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押す



《再生モード画面》



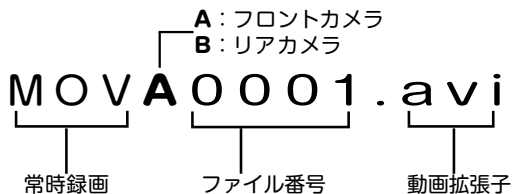
※選択後“OK”ボタンを押すと、録画の再生を開始します。再生を一時停止するときは、“OK”ボタンを押してください。

再度、再生する場合は“OK”ボタンを押してください。

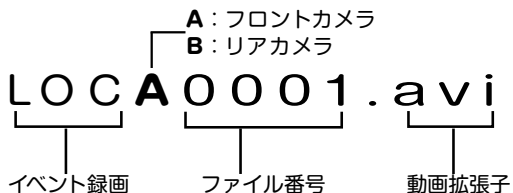
●再生ファイルについて

映像、画像を記録すると、下記ファイル名で保存されます。
イベント録画は画面上部に“鍵”マークが表示されます。

常時録画のファイル

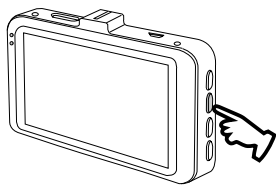


イベント録画のファイル



●再生の終了

“モード” ボタンを押して、
動画モードにします。



●録画の開始

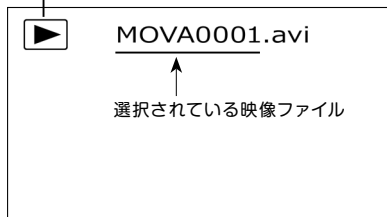
動画モード時に“OK” ボタンを押すか、電源を入れ直してください。

●ファイルの削除

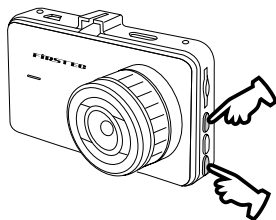
本体で不要なファイルを削除することができます。パソコンでも削除は可能です。

1. 再生モード画面で削除したいファイルを選択し、“メニュー” ボタンを押す

再生モード表示



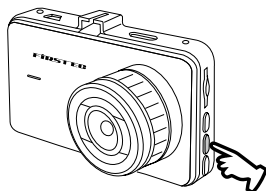
《再生モード画面》



2. 削除の画面が表示されます

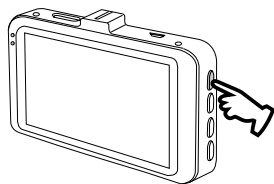
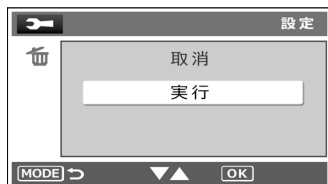


“削除”を選択し、“OK” ボタンを押す。
削除選択画面が表示されます。



3. 削除選択画面で“現在のファイル削除”または“すべて削除”を選択し、“OK” ボタンを押す。

削除実行画面が表示されます。



“実行”を選択し、“OK” ボタンを押す。

4. ファイルが削除され、再生モード画面に戻ります。

ご注意：イベント録画のロックファイルは削除できません。パソコンで削除するか、フォーマットを行ってください。但し、フォーマットを行うと全てのファイルが消去されます。

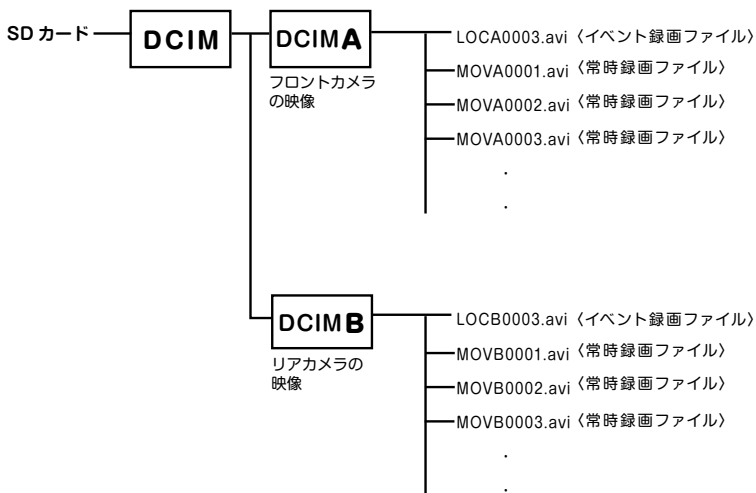
パソコンで見る

パソコンの動作環境

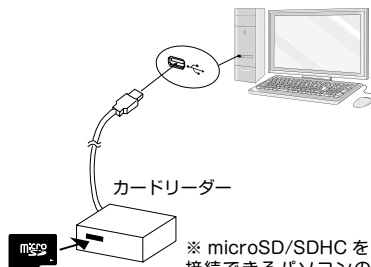
- ・ Windows 8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の AVI(MJPEG) 動画再生ソフトがインストールされていること。
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



1. カードリーダーをパソコンに接続する



2. SD カードをカードリーダーに挿入する

※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

3. “DCIM” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く

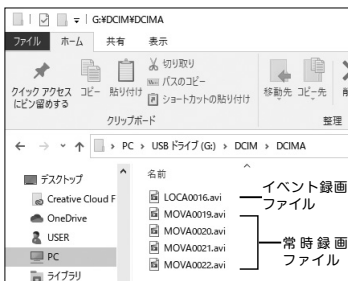


4. “DCIM A” または “DCIM B” フォルダを開く

録画ファイルが表示されます。

※ 常時録画ファイルを開くと Windows Media Player 等の動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。

※ イベント録画ファイルを開くと G センサーまたは手動によりロックされた録画ファイルの再生が始まります。



再生時の記録動画について

本機種はカメラでの撮影映像を MJPEG コーデックにより JPEG 画像をブロック（正方形）に分割してそれぞれに対して圧縮処理を行って動画を保存しています。パソコンなどの大きな画面で動画を再生した場合、フロント映像（1280 × 720）よりリア映像（640 × 480）のほうが解像度が小さいため、同じ画面サイズで再生した場合に画面に現れる正方形の1ブロックの大きさがリア映像のほうが大きく見える場合があります。また SD カードの記録状態および再生環境（パソコン）により動画再生時に瞬間的にカクツキ（不連続）が生じる場合がありますが異常ではありません。

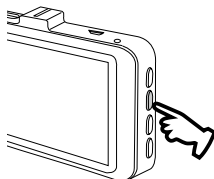
各種設定

各種設定を行う場合は、“OK” ボタンを押して録画を停止してください。

設定手順

1. 動画モードになっていることを確認する

動画モードになっていない場合は、“モード” ボタンを押して動画モードにしてください。

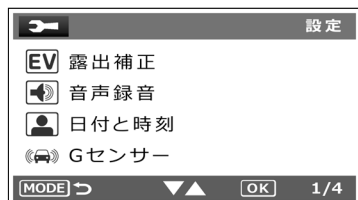
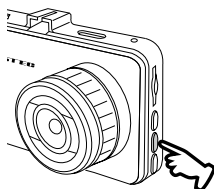


動画モード表示



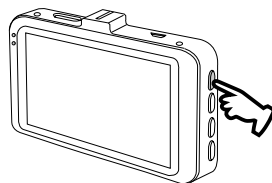
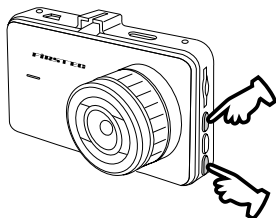
《動画モード画面》

2. “メニュー” ボタンを押し、設定メニューを表示させる



設定メニュー

3. “▽” “△” ボタンを押し、設定したい項目を選択して“OK” ボタンを押す



4. “▽” “△” ボタンを押し、お好みの設定を選択し“OK” ボタンを押して確定させる

※確定後は、設定メニューに戻ります。終了する場合は“メニュー” ボタンを押します。

※録画を開始する場合は、動画モードにして“OK” ボタンを押します。

各種設定

■設定項目

フロントカメラの画像を明るく・暗く

露出補正（フロントカメラ）

露出補正を設定できます。

設定範囲	-2.0 ~ +2.0
------	-------------

初期設定：+0.0

映像と同時に周囲の音を録音

音声録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

※録画中 / 録画停止中に“▽”ボタンを押すことでも、ON/OFFの切り替えが可能。

オン	音声を記録する（初期設定）
オフ	音声を記録しない

日付、時刻を記録する

日付と時刻

映像内に日付や時刻を同時に記録することができます。

オン	日時を記録する（初期設定）
オフ	日時を記録しない

Gセンサーによる自動ロックファイル機能

G センサー

Gセンサーによるロックファイル機能は、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルが保護される機能です。Gセンサーの感度は3段階調整できます。

※SDカードの容量の約55%を超える古い保護ファイルから上書き保存されます。

※衝撃の度合いや方向によってはGセンサー設定値より一定以下の場合、ロックがきかない場合があります。

高感度	
中感度	（初期設定）
低感度	
オフ	Gセンサーを使用しない

画像補正

WDR（フロントカメラ）

WDR: 明るさの落差が大きい環境で、白とびや黒つぶれを改善できます。（フロントカメラのみ）

オン	補正をする（初期設定）
オフ	補正をしない

日付と時刻を設定する

日付設定

映像に記録する日時の設定をします。（P.14 参照）

スクリーンセーバー

スクリーンセーバー

3分経過するとLCDのバックライトが消えます。

オフ	バックライトを消さない(初期設定)
3分	3分後にバックライトを消す

※スクリーンセーブ動作中に何れかのタンを押すとバックライトが点灯します。再び、設定時間になるとバックライトが消えます。

※電源ランプ、録画ランプは点灯/点滅します。

操作音を ON/OFF する

操作音

ボタンを操作した時に鳴る操作音のON/OFFを設定します。

オン	操作音を鳴らす(初期設定)
オフ	操作音を鳴らさない

言語を選択

言語設定

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

選択可能な言語は日本語(初期設定)とEnglish(英語)です。

蛍光灯のチラツキを抑える

電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では50Hz、西日本では60Hzを選択します。

50Hz	東日本地域(初期設定)
60Hz	西日本地域

SD カードを初期化する

フォーマット

SDカードの初期化を行います。SDカードを初期化すると、記録したデータ(ロックファイルを含みます)は全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。(P.12 参照)

取消
実行

設定を工場出荷状態に戻す

工場出荷設定

本機の設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「実行」を選択してください。

取消
実行

ソフトウェアのバージョンを確認

バージョン

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

記録時間の目安

SD カード容量	4GB	8GB	16GB	32GB
	20分	45分	90分	180分

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

※ SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトウェアをダウンロードすることで最新のバージョンにすることができます。

※詳細はホームページを参照ください。

故障かな？と思ったら

SD カードを認識
しない / 記録が停
止する

- 「SD カードをフォーマットしてください」と画面表示が出る。
⇒カードを本体に挿入してください。
⇒SD カードをフォーマットしてください。
(P.12)
- SD カードは消耗品です。一定期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷し正常な記録ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい microSD カードと交換してください。市販の microSD カードは、用途により仕様が異なるため、動作を一切保証しておりません。弊社営業経由にて動作確認が取れている microSD カードをお買い求め下さい。

電源が入らない
画面が真黒
電源が落ちる
再起動を繰り返す

- カー電源コードの接続配線を確認してください。
- SD カードをフォーマットしてください。
(P.12)
- SD カードを抜いて電源を入れる。
⇒改善した場合、SD カードを交換してください。

電波干渉によって
ナビの TV 画面が
1 セグに切り替わる
もしくは映らない

- 配線の取り回しをご確認ください。
- TV のアンテナコードと本機のケーブルをまとめている。
⇒配線は別にまとめてください。
- 配線を含む本機とフィルムアンテナの位置が近い。
⇒離して取付をお願いいたします。
- ナビ本体や他の機器に本機のケーブルをまとめている。
⇒離して取付をお願いいたします。

故障かな？と思ったら

画面にドット欠損
(輝点・滅点)がある

- 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

日時表示が違う

- 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから日時を再設定してください。
充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命ですので交換が必要になります。

後方カメラが映らない

- 接続コードがしっかり接続されていない。
⇒接続コードを確認してください。
- 表示がフロントカメラになっている。
⇒切り替えボタンでリアカメラに切り替えてください。(P.21)

操作を受け付けない

- SDカードが壊れている可能性があります。
⇒SDカードを抜いて動作をする場合には、SDカードが壊れている可能性があります。

それでも
動かないときは

〒194-0037
東京都町田市木曽西 2-3-8
株式会社 エフ・アール・シー サービス課
TEL：042-793-7746
土日祝日及び弊社休業日を除く
【10:00～12:00 13:00～17:00】

主な仕様

外形寸法	フロントカメラ 約 85(幅) × 50(高さ) × 16(奥行) mm リアカメラ 約 57(幅) × 24(高さ) × 27(奥行)mm 突起部除く
質量	フロントカメラ 約 58g (microSDHC カード含む) リアカメラ 約 23g (接続コード含まず)
記録媒体	microSDHC カード (8GB 付属) 4 ~ 32GB 対応 (Class10 以上)
撮像素子	フロントカメラ 100 万画素 CMOS リアカメラ 31 万画素 CMOS
レンズ画角	フロントカメラ 水平 約 91 度 垂直 60 度 (125 度対角) リアカメラ 水平 約 70 度 垂直 57 度 (86 度対角)
最大記録画角	レンズ画角と同じ
記録解像度	フロントカメラ 1280 × 720(HD) リアカメラ 640 × 480(VGA)
画像補正	WDR(フロントカメラのみ)
GPS	無し
G センサー	有り (オフ、低 / 中 / 高) 3 段階調整
記録方式	常時録画、イベント記録 (G センサー、手動)
録画ファイル構成	3分
画面サイズ	3 インチ液晶モニター
音声	ON/OFF 可能
フレームレート	フロントカメラ 26fps リアカメラ 26fps
映像ファイル形式	動画 AVI(MJPEG)
記録映像再生方式	Windows Media Player 等の AVI(MJPEG) 再生ソフト
電源電圧	DC12/24V(本体 5V)
バックアップ電源	スーパーキャパシタ方式 / ボタン充電電池 (時計用)
消費電流	最大約 200 m A (DC12V 時)
動作温度範囲	0 ~ +60℃
商品保証期間	1 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)
言語	日本語 / 英語
付属品	フロントカメラ用取付けステー × 1、フロントカメラステー用両面テープ × 1 リアカメラ (ケーブル長: 約 0.5 m) × 1、リアカメラ用両面テープ × 1 リアカメラ接続ケーブル (ケーブル長: 約 5.4 m) × 1 カー電源コード (コード長: 約 3.5 m) × 1、microSDHC カード (8GB) × 1 取扱説明書 × 1

●商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

Handwriting practice lines consisting of 15 horizontal dashed lines.

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持込いただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみの保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カード、両面テープは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL：042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00～12:00 13:00～17:00】



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。
万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。
修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保管してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商 品 名	ドライブレコーダー FT-DR130W		
保 証 期 間	1 年間 (消耗品除く)	購入年月日	年 月 日
お 客 様	ご住所		
	TEL.		
	お名前		
販 売 店	住所		
	店名		
	印		

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO., LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL <https://www.frc-net.co.jp>



4-263-002